

用語

日本語：熱中症警戒アラート 英語：heatstroke alert

【定義】環境省・気象庁が新たに提供する，熱中症予防を目的とした「暑さへの気づき」を呼びかけるための情報。

【説明】地球温暖化による気温上昇に伴って，熱中症による死亡者数・救急搬送者数が著しい増加傾向にあることから，熱中症対策は極めて重要な課題となっている。熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される際に発表し，国民の熱中症予防行動を効果的に促すことを目的として，令和3年4月28日より全国で運用が開始された。平成23年より導入された「高温注意情報」を，熱中症の発生との相関が高い「暑さ指数*（WBGT）」に置き換え，府県予報区内のどこかの地点でWBGTが33以上になると予測した場合に発表される。発表タイミングとしては，前日の17時及び当日の朝5時に最新の予測値を元に発表される。熱中症とは，高温条件下で，体温の調節機能が破綻するなどして，体内の水分や塩分のバランスが崩れ発症する障害の総称。令和2年夏期（6月から9月）の東京都23区における熱中症による死亡者の状況としては，約9割が65歳以上の高齢者で，全体の約9割は屋内で発生している。

*暑さ指数（WBGT：wet-bulb globe temperature）とは，ヒトの熱バランスに影響の大きい気温，湿度，輻射熱（日差し等）からなる熱中症の危険性を示す指標。「危険」「嚴重注意」「警戒」「注意」「ほぼ安全」の5段階に分類され，段階ごとに熱中症を予防するための生活や運動の目安が示されている。

【解説者】香川(田中) 聡子 所属：横浜薬科大学薬学部